

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	警備課	内線等	1197
事業コード		事務事業名	ファンバス運行実施事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競 艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇場へ来場するファンバス利用者のために
手 段	ファンバス（無料）の運行により（東岡崎・蒲郡駅）
想定する成果	ファンが来場するのに利便をサービスをすることによって、来場の促進を図る。

③事業の概要

（円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
バス利用者（人）	210,654	190,158	204,361
バス借上料（円）	227,426,212	203,956,886	219,990,000
臨時従事員費（円）別予算	3人 10,287,375	4人 14,172,664	4人 14,000,000
借上台数（台）	3,099	2,864	3,042

④成果指標

①

②

成果指標名	一人当たり費用額	開催日1日当たりファンバス利用者数
成果指標の説明	借上料/総利用者	総利用者/年間開催日数

⑤事業の進捗状況

（ モーターボート競走事業特別会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1,076円
	実績	1,080円	1,073円	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,064人
	実績	1,097人	1,022人	—
事業費	事業費	237,714	218,130	233,990
	人件費	6,610	6,494	3,341
	(人数)	0.8	0.8	0.4
	合計	244,324	224,624	237,331
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	244,324	224,624	237,331

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	2	従来から継続した事業でファンに定着している。
経済効率性	2	1	公共バス路線運賃と比較すると相当割り高である。
事務効率性	1	2	他場の先進地を視察し実情を把握することで、問題点を洗い出し事務の参考に資すべきである。
必 要 性	3	3	来場手段の多様性・利便性をファンに与えることで、来場の促進を図ることができファンサービスの一環としても必要である。
小 計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	
合 計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

バス借り上げ単価について、業者との交渉で前年比上げないことで落ち着いた。

⑧今後改善すべき点

- 1 適正配車台数の研究・検討：しかし不足（バスが不足）があってはいけないので、事業を円滑に実施するためには、多少のゆとりは必要、保険との考えもできる。今後も状況に応じて追加車両発注方式が適切と考えられる。しかしながら常に追加発注どおりに配車ができない場合があり難しい問題である。
- 2 効率よく事業を実施するためには、ファンバスに従事する臨時従事員の勤務体制、形態の見直し（労務上の事項）が必要である。（開門35分前から12R終了し最終バスが発車後までの7時間35分の業務時間が必要のところ6時間35分の勤務時間では無理がある。現行は時差出勤制で業務効率が悪い。現有4人のところ3人で運営するには、勤務時間を業務時間に合わせること。そして中途の休憩時間を45分とすること。

⑨平成17年度予算に反映する項目

バスターミナルの現場運営を現在4人の臨時従事員が担当しているが、年間1,400万円の人件費（別予算）がかかっており、この業務を委託化し経営効率化の検討をすべきと考えられる。

⑩組織、人員に関する提言

この事業に直接携わる職員は一人（兼務）であり、事業を円滑に運営するためには補助補完できる体制が必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-1192
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	警備取締事業
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
入場者（人）	1,421,680	1,304,161	1,345,000
収容人員（人）	35,132	35,132	35,132
開催日数（日）	241	228	241
臨時警備員数（人）	20,917	20,982	20,661

④成果指標

	①	②
成果指標名	1日当りの場内収容率	1日当りの臨時警備員数
成果指標の説明	入場者/（収容人員×開催日数）×100	臨時警備員/開催日数

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	15.9%
	実績	16.8%	16.3%	-
成果指標 ②	計画	-	-	85.7人
	実績	86.8人	92.0人	
事業費	事業費	119,789	119,534	104,743
	人件費	9,916	9,740	10,024
	(人数)	1.2	1.2	1.2
	合計	129,705	129,274	114,767
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	129,705	129,274	114,767

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	ナイター開催増によるも、入場者の安全が確保できた。
経済効率性	3	2	開催日の繁忙・閑散による警備の人員を考慮している。
事務効率性	3	3	警備会社へ委託であるため効率性は高い。
必 要 性	3	3	競走の公平かつ安全性を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小 計	12 /12 満点中	11 /12 満点中	
市民参加度	0	-	
合 計	12 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	ナイター開催日数増による競艇場周辺地区については、場内警備と同様、周辺地区の声を繁栄させ十分な配慮を行った。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

ナイター開催により、駅前通り周辺の警備については、地区の要望により場内の構造上及び駐車場の点在により、警備員の人員を見直し、適正な配置とした。

⑧今後改善すべき点

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

開催日増により嘱託職員の増員を希望する。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-1192
事業コード		事務事業名	駐車場誘導・周辺警備事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競走場への来場者に対して
手 段	競走場周辺での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
年間駐車数（台）	613,768	457,716	484,000
収容台数（台）	4,156	4,085	4,151
開催日数（日）	241	228	241

④成果指標

	①	②
成果指標名	1日当りの駐車収容率	1日当りの駐車数
成果指標の説明	駐車数/（収容台数×開催日数）×100	駐車数/開催日数

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	48.4%
	実績	61.2%	49.1%	-
成果指標 ②	計画	-	-	2008台
	実績	2,547台	2,008台	-
事業費	事業費	119,789	119,534	104,742
	人件費	9,916	9,740	10,024
	(人数)	1.2	1.2	1.2
	合計	129,705	129,274	114,766
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	129,705	129,274	114,766

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	ナイター開催増によるも、入場者の安全が確保できた。
経済効率性	3	2	開催日の繁忙・閑散による警備の人員を考慮。
事務効率性	3	2	警備会社へ委託であるため効率性は高い。
必 要 性	3	3	競走場周辺での安全・秩序を維持するため継続的に実施すべき事案である。
小 計	12 ／12 満点中	10 ／12 満点中	
市民参加度	1	－	周辺対策協議会を通じて警備に関する意見の収集を行った。
合 計	13 ／15 満点中	10 ／15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	ナイター開催日数増による競艇場周辺地区及び駐車場は万全の体制にて警備を行い安心・安全を確保することができた。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

ナイターレース中における駐車場及び場周辺地区での巡視の強化をすることとした。

⑧今後改善すべき点

競艇場周辺の警備員の適正化に努め、より効果をあげることができるよう、隊員の教育を指導することとする。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-1192
事業コード		事務事業名	競艇場内外清掃事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場内外での清掃を実施することによって
想定する成果	競走場の清潔の保持を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
年間ごみの量（kg）	270,260	251,070	265,100
開催日数（日）	241	228	241
清掃員数（人）	8,709	8,322	8,709

④成果指標

	①	②
成果指標名	1日当りごみの排出量	1日当り清掃員数
成果指標の説明	ごみ量/開催日数	清掃員数/開催日数

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	1,100 k g
	実績	1,121 k g	1,101 k g	-
成果指標 ②	計画	-	-	36.1人
	実績	36.1人	36.5人	-
事業費	事業費	121,532	148,160	161,400
	人件費	6,610	6,493	6,682
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	128,142	154,653	168,082
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	128,142	154,653	168,082

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	場内外清掃を清掃会社に委託し競艇場の清潔保持に努めた。
経済効率性	3	3	清掃会社委託とすることとした。
事務効率性	3	2	清掃会社へ委託であるため効率性は高い。
必 要 性	3	3	競走場の清潔保持を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小 計	12 /12 満点中	11 /12 満点中	
市民参加度	1	-	周辺対策協議会を通じて清掃に関する意見の収集を行った。
合 計	13 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	競艇場内外の清掃は、清掃業者委託とする。ナイター、デイレースにかかわらず、効率・清潔保持に万全の体制にした。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

競艇場内外の清掃は、平成15年1月から業者委託とし、併せて経費の軽減に努めた。

⑧今後改善すべき点

競艇場内外の清掃は、全面業者委託とする。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	警備課	内線等	97-1192
事業コード		事務事業名	救護・苦情等処理事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場内での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
事案（救護・苦情等）件数	365件	334件	350件
年間開催日数	241日	228日	241日

④成果指標

	①	②
成果指標名	開催日1日当りの事案発生率	
成果指標の説明	年間場内事案件数/年間開催日数	

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	1.5件
	実績	1.5件	1.5件	-
成果指標 ②	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	113,323	113,251	104,122
	人件費	6,610	6,493	6,682
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	119,933	119,744	110,804
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	119,933	119,744	110,804

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	開催増により、内容は煩雑傾向にある。
経済効率性	2	2	囑託職員で対応している。
事務効率性	2	2	競走に関する事案については効率性は低い。
必 要 性	3	3	競走の公平かつ安全性を確保するため、継続的に実施すべき事案である。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	0	-	
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	ナイター開催日数増によるも、日々事案は多種多様である、このような現状の中で動静を察知し事を未然に防ぎ安心・安全である施設で体制を万全にすることとした。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

場内での苦情処理について、軽微な事案は各々の現場にて対応することとした。

⑧今後改善すべき点

場内の入場者は、年老いたファンが際立つ、突然持病により倒れ意識を失い救急車で搬送されるケースが多い。救急体制の確立が必要とされる。
競技面の苦情も多数あるため、競走会の専門職員を配置し苦情処理の迅速を図る。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載